

5. 成果報告会の実施概要

1) 国際ロボット展における成果報告

(1) 展示ブース訪問者からの質問や意見

展示ブースへの来訪者に対して、学生による介護ロボットの説明を行った（表 v-5-1）。展示開始の当初、ブースへ立ち寄る来訪者はパネルをみる程度であったが、チラシの配布などをととして積極的に学生が声をかけることにより、来訪者とのディスカッションが活発に行われた。また、パーキンソン氏病のための歩行器を提案したモビリティ専隊令和Xは、12月14日の最終報告会における推進委員のコメントを踏まえ、視覚刺激装置を実装するなど実機の機能性を向上させ、介護ロボットのブラッシュアップを図っていた。

○場所：東京ビッグサイト南ホール

○日時：令和元年12月18～21日、9:00～17:00（専用ブース展示）

表 v-5-1 介護ロボット東京フォーラムにおける学生協議会の成果報告の概要

チーム（参加数）	展示の概要
オークリー 学生数（延べ人数）：5（8）名	
モビリティ専隊令和X 学生数（延べ人数）：5（7）名	
ガガーリン 学生数（延べ人数）：4（8）名	
D 学生数（延べ人数）：6（7）名	
Amaze 学生数（延べ人数）：4（6）名	

2) 介護ロボット東京フォーラムにおける成果報告（普及拠点事業）


参加者は、学生協議会関係者に加えて一般の聴講者も見受けられた（表 v-5-2）。学生によるプレゼンテーション用のスライドは、12月14日に行われた最終報告会での推進委員からの指摘を踏まえ、すべてのグループにおいて聴講者が理解しやすいようにブラッシュアップされていた。また、プレゼンテーションは口調および見せ方など、ともにすべてのグループが自信をもって臨んでいるのが感じられた。

○場所：東京ビッグサイト南ホール

○日時：令和元年12月20日、15:00～17:00

○参加来場者：46名

表 v-5-2 学生参加者数と内訳

チーム（参加数）	プレゼンテーションの概要
オークリー 学生数：1名	
モビリティ専隊令和X 学生数：4名	
ガガーリン 学生数：3名	
D 学生数：5名	
Amaze 学生数：4名	

3) 介護ロボット全国フォーラムにおける成果報告（福祉用具・介護ロボット実用化支援事業）

介護ロボット全国フォーラムにおいては、全チーム17名の学生の参加があった（表 v-5-3）。学生にとっては最終の成果報告であったが、各チームの学生は、展示ブースの来訪者に対して自信をもって説明していた。なかでも、これまで学内ではみられなかった積極的姿勢が本事業を通じて見受けられるようになった学生がいるといった担当教員の評価的コメントもあった。

○場所：TOC 有明コンベンションホール

○日時：令和元年1月24日、11:00～16:30

○参加学生数：17名

表 v-5-3 学生参加者数と内訳

チーム（参加数）	プレゼンテーション概要
オークリー 学生数：1名	
モビリティ専隊令和X 学生数：4名	
ガガーリン 学生数：3名	
D 学生数：5名	
Amaze 学生数：4名	